



平成 18 年 7 月 28 日

各 位

東京都千代田区麹町一丁目 4 番地
松井証券株式会社
代表取締役社長 松井 道夫
(東京証券取引所第一部：8628)
問合せ先：取締役経営企画部長 三根 公博
TEL：03(5216)8650

夜間取引の参入について
～約定と受渡が同時の即時決済取引(日本初)を導入予定～

松井証券は、来春を目処に、夜間取引に参入いたします。松井証券が開設するPTS(私設取引システム)^(※1)において競売買(オークション)方式により行うものとし、約定と受渡が同時となる即時決済取引の導入を予定しております^(※2)。これは日本初の試みです。また、売買審査等のコンプライアンス体制については、株式会社東京証券取引所(以下、東京証券取引所と呼びます)に必要な応じて協力を依頼いたします。

現在の取引所の普通取引は、約定から受渡までに3日間のタイムラグがあります。ここ数年で個人投資家層は拡大してはいますが、未だその絶対数が国民の一部にとどまっている原因の一つは、通常の商慣習からは異質である、このタイムラグです。実際の諸ルールおよび事務を複雑なものにしているだけでなく、個人投資家に「株式投資はなんとなく特別なもの」という心理的な距離を与えているのです。

「約定、即、受渡」とすることで、例えば、株券を売却した後すぐにその代金を手元に引き出すことや、その代金を使ってネットショッピング等を楽しむことも可能となります。それにより株券と現金を隔てる壁は低いものとなり、投資は、個人にとってより身近なものとなると考えております。

また、競売買によるPTSでは、投資家保護上、公正な価格の形成が課題であり、売買審査を始めとしたコンプライアンス体制の強化は欠かせません。松井証券では、夜間取引を開始するにあたって、東京証券取引所の協力を得て、万全のコンプライアンス体制を構築する所存です。

松井証券は、今後も個人投資家の利益に資するサービスの拡充に努めてまいります。

以上



【現在予定している内容】

受渡（決済）	0秒（約定と同時）
価格決定方法	競売買（オークション）による方法
取引時間	夜間（具体的な時間帯は未定）
取扱い有価証券	取引所に上場する株式のうち、当社が選定した株式
取引の種類	現物取引（信用取引は今後検討）
対象顧客	松井証券に口座を保有している顧客

(*) 松井証券では、PTSの開設にあたり、内閣総理大臣に対して「証券会社の私設取引システム運営業務の認可」を申請する予定です。

(*) 松井証券では、即時決済システムに関する特許を出願中です。